



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス

コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 賢

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼経理財務部長

(氏名) 高橋 喜春

TEL 022-218-6155

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	265,813	0.6	△312	—	1,270	△52.3	1,357	△7.6
23年3月期第2四半期	264,204	0.1	1,204	29.5	2,662	13.9	1,468	8.1

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 1,347百万円 (60.5%) 23年3月期第2四半期 839百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.90	—
23年3月期第2四半期	24.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	252,397		52,540		20.7
23年3月期	262,688		51,195		19.4

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 52,241百万円 23年3月期 50,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	538,600	1.2	200	—	3,230	53.9	2,540	—	42.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	61,224,796 株	23年3月期	61,224,796 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,957,913 株	23年3月期	1,957,858 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	59,266,928 株	23年3月期2Q	61,139,113 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響に加え、米国・欧州における財政不安の影響による円高や株安により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、事業子会社である(株)バイタルネット（東北・新潟を主な商圏とする医薬品卸売業）及びその子会社において、地震による建物の損壊、津波による建物への浸水や車両・商品の汚損・流出、加えて原発事故等の被害がありましたが、医療用医薬品等の安定供給という社会的使命を果たすため、営業・物流体制の復旧に全社一丸となり取り組んだ結果、6月末までに全ての営業拠点で通常の営業活動を再開することができました。また、お客様におきましては、震災時には約800軒も被災により休院・休業を余儀なくされておりましたが、最近までに500軒以上が営業を再開しております。

当社グループでは、前連結会計年度からスタートした中期経営計画『統合・先進・現場力』の実践課題である、営業戦略システム『V Kマーケティング』の稼働による営業競争力強化、主要な事業子会社（(株)バイタルネットと(株)ケーエスケー）の本社定型業務を受託する「(株)V Kシェアードサービス」による業務効率化、C T S（物流センターにおける得意先別ピッキング体制）の進展による物流コスト削減などに取り組んでおります。

また、国による医療費抑制策により平成22年4月の薬価改定で平均6.5%の薬価の引下げが行なわれ、大幅な薬価ダウンとなった長期収載品の販売が減少したものの、薬価改定時に試行的に導入された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」の対象品目や新製品並びに高利益商品の販売に注力する一方、商品毎の価値に応じた単品単価交渉を推進してまいりました。更に、一部のメーカーでの共同仕入による利益の獲得にも努めてまいりました。

しかしながら、震災の影響でお客様や患者数が減少したことによる販売減少に加え、長期収載品の販売減少や新薬制度の導入による混乱、同業者間の競争激化による価格の低下が予想よりも大きく、経営環境は非常に厳しいものとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は265,813百万円（前年同期比100.6%）の微増取であったものの、連結営業損益は312百万円の営業損失（前年同期は1,204百万円の連結営業利益）になりました。これは販管費の削減に努めたものの、上述の要因による売上総利益の低下が響いたことによります。次に、連結経常利益は1,270百万円（前年同期比47.7%）となりましたが、連結四半期純利益は3月の震災によって発生した貸倒引当金2,412百万円のうち、回収不能リスクの軽減等による戻入額800百万円を特別利益に計上したことなどにより、1,357百万円（前年同期比92.4%）となりました。

今後といたしましては、中期経営計画の推進に一層注力し各施策の早期実現を図る一方、緊急対策として、メーカーからの最終仕切価の改善やお客様との取引状況の見直しを図るとともに、グループ会社の再編やグループ全体での人員配置の見直し等によるコスト削減を実行し、利益の確保に努めてまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医薬品卸売事業

当社グループの主たる事業であります医薬品卸売事業におきましては、前述の通り、震災による影響や競争激化による価格の低下の影響等により、売上高は259,226百万円（前年同期比100.7%）となり、セグメント損失（営業損失）は502百万円（前年同期は1,047百万円の営業利益）となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、震災によって店舗や顧客を失った調剤薬局事業や介護事業等の販売減が影響し、売上高は6,587百万円（前年同期比98.7%）となって前年割れになったものの、販管費の削減に努めた結果、セグメント利益（営業利益）は134百万円（前年同期比112.3%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末から10,291百万円減少し、252,397百万円となりました。内訳は、流動資産185,605百万円、固定資産66,792百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金19,060百万円、受取手形及び売掛金122,106百万円、たな卸資産29,067百万円及び未収入金14,545百万円であります。なお、東日本大震災に伴う債権回収リスクに備えるため、臨時的に借入れた資金6,600百万円の返済等により、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ、12,931百万円減少しております。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産33,605百万円、無形固定資産2,246百万円、投資その他の資産30,941百

万円であります。

負債は、前連結会計年度末から11,636百万円減少し、199,856百万円となりました。内訳は、流動負債179,471百万円、固定負債20,385百万円であります。

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金171,948百万円、短期借入金2,506百万円及び賞与引当金1,135百万円であります。なお、上述のとおり臨時的に借入れた資金の返済等により短期借入金が前連結会計年度末に比べ、5,100百万円減少しております。

固定負債の主な内訳は、退職給付引当金8,856百万円及び負ののれん5,534百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末から1,345百万円増加し、52,540百万円となりました。主な増加の要因は、四半期純利益1,357百万円の計上であります。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、10,883百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は8,157百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益2,274百万円の計上、非資金項目である減価償却費1,151百万円の計上、たな卸資産の減少額2,748百万円等の増加要因の他、売上債権の増加額6,317百万円、仕入債務の減少額7,239百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は1,452百万円となりました。これは主として定期預金の増加額1,357百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は4,677百万円となりました。これは主として長期借入による収入900百万円の増加要因の他、短期借入金の減少額5,100百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえて、平成23年5月27日に公表いたしました平成24年3月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年11月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,992	19,060
受取手形及び売掛金	115,815	122,106
たな卸資産	31,816	29,067
未収入金	14,497	14,545
その他	3,279	2,592
貸倒引当金	△2,644	△1,767
流動資産合計	194,756	185,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,553	13,070
土地	18,217	18,035
その他（純額）	2,717	2,499
有形固定資産合計	34,488	33,605
無形固定資産		
その他	2,386	2,246
無形固定資産合計	2,386	2,246
投資その他の資産		
その他	32,441	32,420
貸倒引当金	△1,384	△1,479
投資その他の資産合計	31,056	30,941
固定資産合計	67,931	66,792
繰延資産		
その他	0	—
繰延資産合計	0	—
資産合計	262,688	252,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	179,188	171,948
短期借入金	7,606	2,506
未払法人税等	140	988
賞与引当金	1,109	1,135
その他の引当金	382	210
その他	2,704	2,682
流動負債合計	191,131	179,471
固定負債		
退職給付引当金	8,911	8,856
その他の引当金	320	209
負ののれん	5,906	5,534
その他	5,223	5,785
固定負債合計	20,362	20,385
負債合計	211,493	199,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,675	12,675
利益剰余金	29,143	30,500
自己株式	△1,200	△1,200
株主資本合計	45,618	46,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,298	5,266
その他の包括利益累計額合計	5,298	5,266
少数株主持分	278	299
純資産合計	51,195	52,540
負債純資産合計	262,688	252,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	264,204	265,813
売上原価	243,327	247,453
売上総利益	20,876	18,360
返品調整引当金戻入額	170	162
返品調整引当金繰入額	177	166
差引売上総利益	20,870	18,355
販売費及び一般管理費	19,665	18,667
営業利益又は営業損失(△)	1,204	△312
営業外収益		
受取利息	77	69
受取配当金	234	316
負ののれん償却額	379	372
受取事務手数料	692	709
その他	147	161
営業外収益合計	1,532	1,629
営業外費用		
支払利息	38	32
複合金融商品評価損	18	1
その他	17	12
営業外費用合計	74	46
経常利益	2,662	1,270
特別利益		
固定資産売却益	13	6
貸倒引当金戻入額	7	800
災害見舞金	—	316
その他	18	183
特別利益合計	39	1,307
特別損失		
固定資産売却損	4	1
減損損失	10	123
投資有価証券評価損	125	88
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	97	—
災害による損失	—	61
その他	38	26
特別損失合計	275	302
税金等調整前四半期純利益	2,425	2,274
法人税等	938	895
少数株主損益調整前四半期純利益	1,487	1,379
少数株主利益	19	22
四半期純利益	1,468	1,357

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,487	1,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△648	△31
その他の包括利益合計	△648	△31
四半期包括利益	839	1,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	820	1,325
少数株主に係る四半期包括利益	19	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,425	2,274
減価償却費	1,082	1,151
減損損失	10	123
のれん償却額	54	3
負ののれん償却額	△379	△372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△325	△782
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	26
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△176
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△58	△117
受取利息及び受取配当金	△312	△385
受取賃貸料	△47	△42
受取事務手数料	△692	△709
支払利息	38	32
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	125	66
有形固定資産除売却損益(△は益)	△7	△3
災害見舞金	—	△316
売上債権の増減額(△は増加)	△615	△6,317
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,904	2,748
未収入金の増減額(△は増加)	1,007	△42
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,939	△7,239
差入保証金の増減額(△は増加)	△41	△45
その他	△85	106
小計	△3,644	△10,017
利息及び配当金の受取額	321	389
受取事務手数料の受取額	768	704
災害見舞金の受取額	—	316
利息の支払額	△37	△32
法人税等の支払額	△1,141	△119
法人税等の還付額	206	613
その他	△1	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,529	△8,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	276	△1,357
有形固定資産の取得による支出	△570	△107
有形固定資産の売却による収入	33	104
無形固定資産の取得による支出	△431	△183
投資有価証券の取得による支出	△19	△71
投資有価証券の売却による収入	—	112
その他	119	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592	△1,452

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	70	△5,100
長期借入金の返済による支出	△403	△3
長期借入れによる収入	—	900
社債の償還による支出	—	△200
自己株式の取得による支出	△295	△0
自己株式取得のための金銭の信託の増減額(△は増加)	△303	—
配当金の支払額	△734	—
その他	△216	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,884	△4,677
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,005	△14,288
現金及び現金同等物の期首残高	18,194	25,171
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,188	10,883

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	257,527	257,527	6,676	264,204	—	264,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	765	765	1,155	1,921	△1,921	—
計	258,292	258,292	7,832	266,125	△1,921	264,204
セグメント利益	1,047	1,047	119	1,166	38	1,204

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額38百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	259,226	259,226	6,587	265,813	—	265,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	683	683	1,314	1,997	△1,997	—
計	259,910	259,910	7,901	267,811	△1,997	265,813
セグメント利益又は損失(△)	△502	△502	134	△368	56	△312

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額56百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
該当事項はありません。